

震災廃棄物等処理の進捗状況等について



仙台市環境局
平成24年5月24日

1. 震災廃棄物等処理の進捗状況と見通し

(1) 発生量と処理目標等

◎発生量：震災廃棄物135万トン, 津波堆積物130万トン

◎目標：発災から1年以内の撤去完了, 3年以内の処理完了

◎処理の特徴

○『自己完結型』の処理

⇒ 仙台市域内で処理完結

○地元業者への発注

⇒ 地域の復旧を地域経済の復興へ繋げる

○リサイクルの推進(50%以上), 環境への配慮・安全の確保

1. 震災廃棄物等処理の進捗状況と見通し

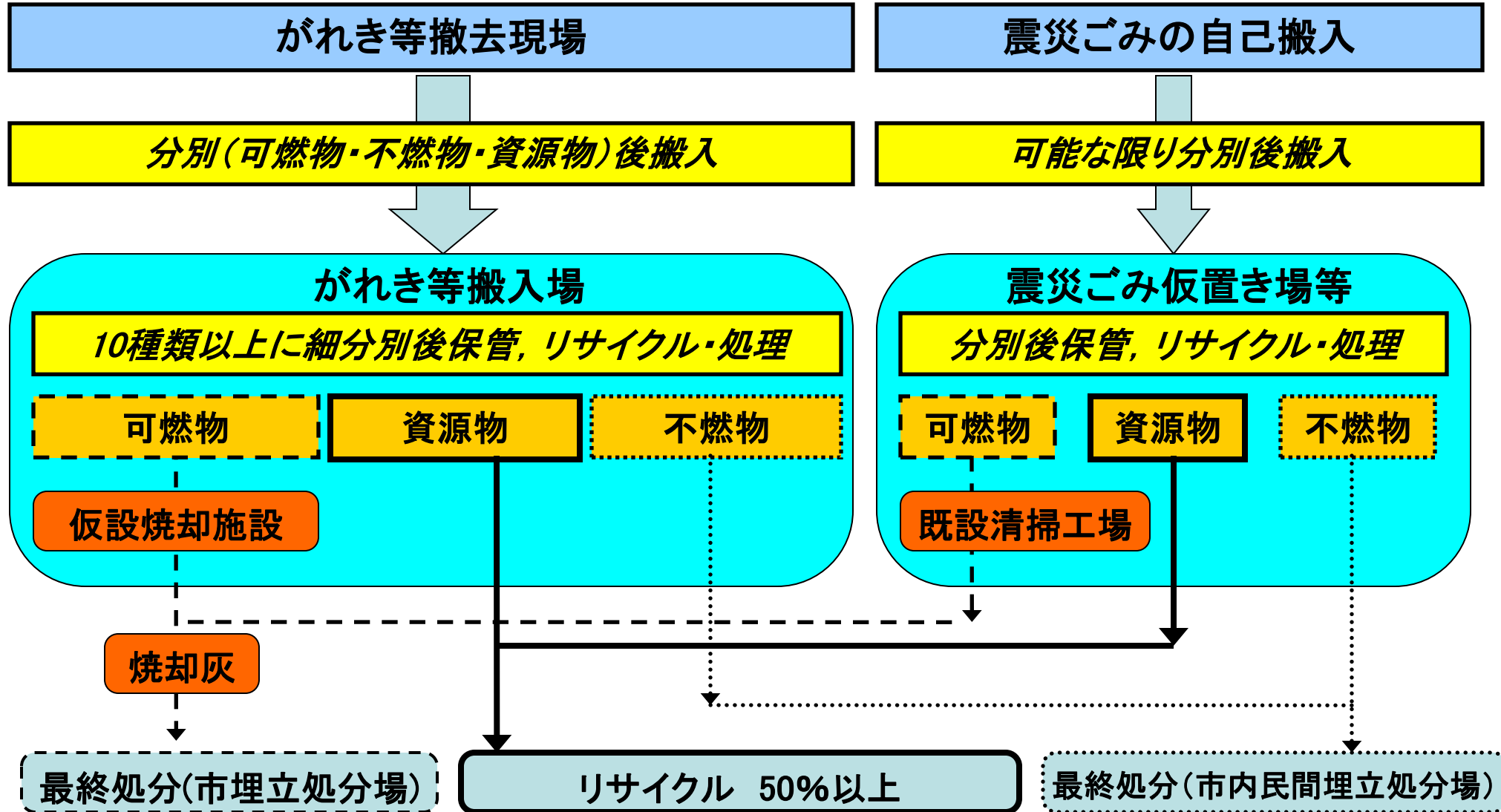
○がれき等搬入場と震災ごみ仮置き場の設置状況

- がれき等搬入場 : 津波により被災した沿岸3箇所計103ha
- 震災ごみ仮置き場 : 各区ごとに1箇所(延べ8箇所)計7ha



1. 震災廃棄物等処理の進捗状況と見通し

○震災廃棄物等の撤去・処理のフロー



1. 震災廃棄物等処理の進捗状況と見通し

(2) 撤去

◎損壊家屋等を除き完了

○がれき等 : 昨年中に完了(宅地内は7月中, 農地内は12月中にそれぞれ完了)

○津波堆積物 : 平成24年3月に完了

○損壊家屋等の解体 : 平成24年度も引き続き実施

- ・申請9,734件, うち6,682件解体・撤去済み(平成24年5月15日現在)

- ・解体・申請期限は宅地復旧事業等を考慮し, 平成24年9月28日(金)まで延長

- ・損壊家屋等の解体・撤去事業全体の完了目標は平成25年3月※

※「復興施策に関する事業計画と行程表」(平成23年11月環境省)による

1. 震災廃棄物等処理の進捗状況と見通し

(3) 処理・リサイクル

◎ほぼ全ての品目の処理・リサイクルについて着手済み

⇒ 処理・リサイクル済みの震災廃棄物 : 27.2万トン

(処理13.5万トン／リサイクル13.7万トン。平成24年5月15日現在)

⇒ 発生量に対する処理・リサイクル済み率 : 20.1%

○処理・リサイクル完了時期の見通し : 焼却が平成25年夏頃, これ以外が同年秋頃

○津波堆積物の有効活用 : 平成25年9月頃を目標として関係部署と調整中

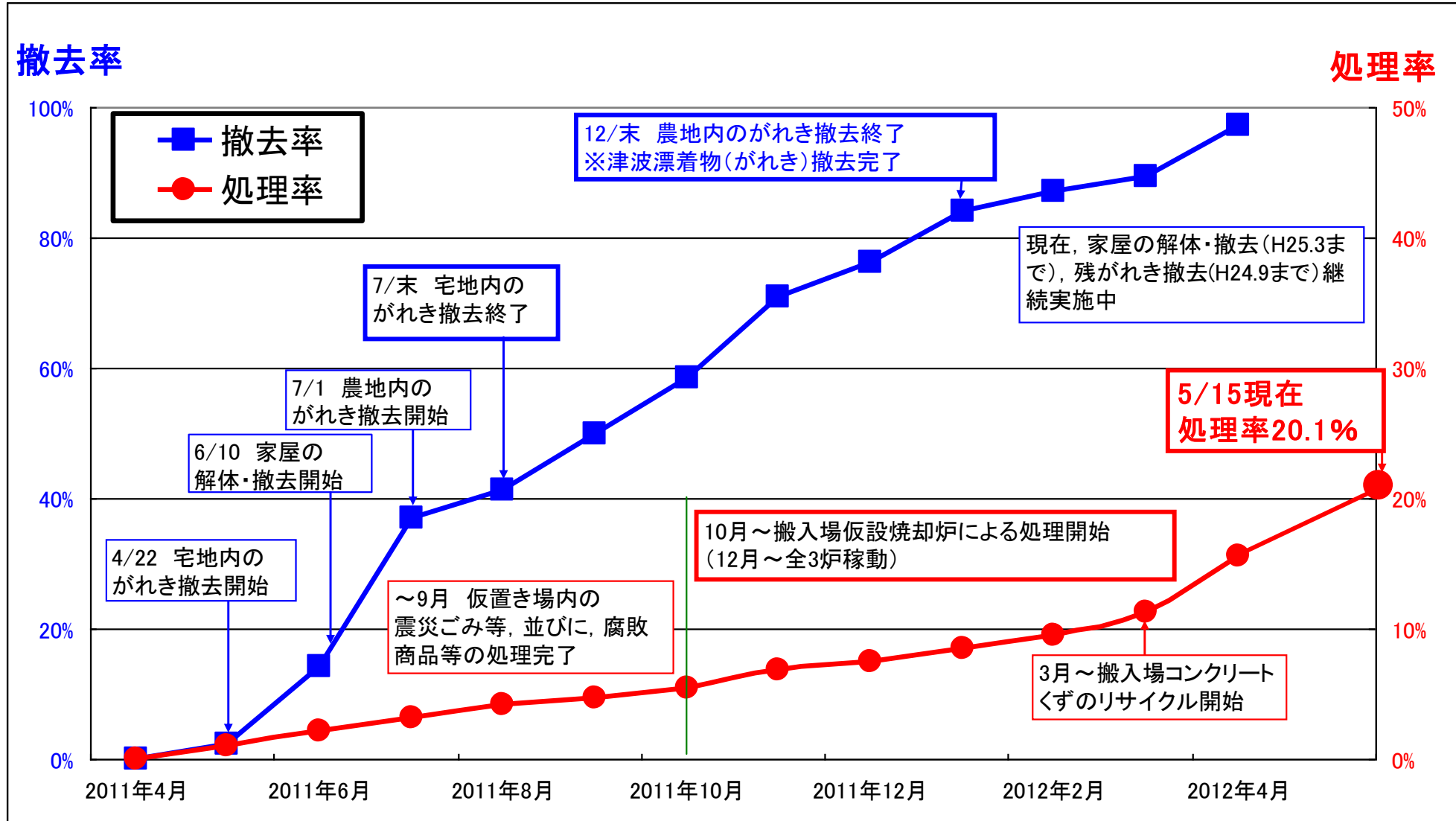
(4) 搬入場の原状復旧

◎東部地区の復興事業に円滑に引き継ぐため,

平成25年10月頃に着手, 平成26年3月の完了を目指す

1. 震災廃棄物等処理の進捗状況と見通し

○震災廃棄物の撤去・処理率



2. 市域外がれきの受入れ

(1) 背景

○本市の震災廃棄物(以下「がれき」という。)の処理は、目下順調に進捗し、焼却処理については平成25年夏ごろには前倒しで作業を完了する見通し

⇒こうした焼却処理等に係る余力を最大限活用し、県内被災市町の1日も早い復旧・復興に資するため、市域外からがれきを受け入れ、処理を行う

(2) 基本的な考え方

①市域外からがれきを受け入れる場合でも、「搬入場」の原状復旧目標(平成26年3月)は変更しない

・「搬入場」の原状復旧を段階的に進めることにより、当初目標を変更せずに仮設焼却施設の稼働期間を最大限に確保

⇒仮設焼却施設の撤去等には、少なくとも3ヶ月程度要すると見込まれるため、最長で平成25年12月まで焼却処理の継続が可能

2. 市域外がれきの受入れ

(2) 基本的な考え方

②受け入れたがれきは焼却処理から最終処分まで一貫して実施する

③がれきの具体的な受入量は、焼却処理に係る余力並びに石積埋立処分場の残余容量をベースに検討する

- ・仮設焼却炉を平成25年12月まで稼働させる場合、約8万トンの追加焼却が可能
- ・既設の清掃工場も活用した場合には、さらに約2万トンの上積みが可能

⇒以上、合計最大10万トン进行处理した場合に生じる焼却灰は、石積埋立処分場が有する残余容量で十分対応が可能

④受け入れるがれきは、本市と同様の性状・分別レベルのものとする

- ・宮城県が整備する二次仮置き場において適切に破碎・選別処理が行われたがれきを受け入れ、本市の焼却施設に直接投入

2. 市域外がれきの受入れ

(3) 受入れ方針

◎県内で最もがれきの発生量が多い石巻ブロック(石巻市・東松島市・女川町)から木くず等を中心とした可燃物を最大10万トン受け入れる

※現時点における本市のがれき焼却処理予定量は推計約24万トン。

今回、市域外のがれきを受け入れることによって合計約34万トン(40%増)となる見通し

◎宮城県等と搬入・処理計画の詰めを急ぎ、早ければ本年7月には受入れを開始し、市内のがれきと並行して処理を進める



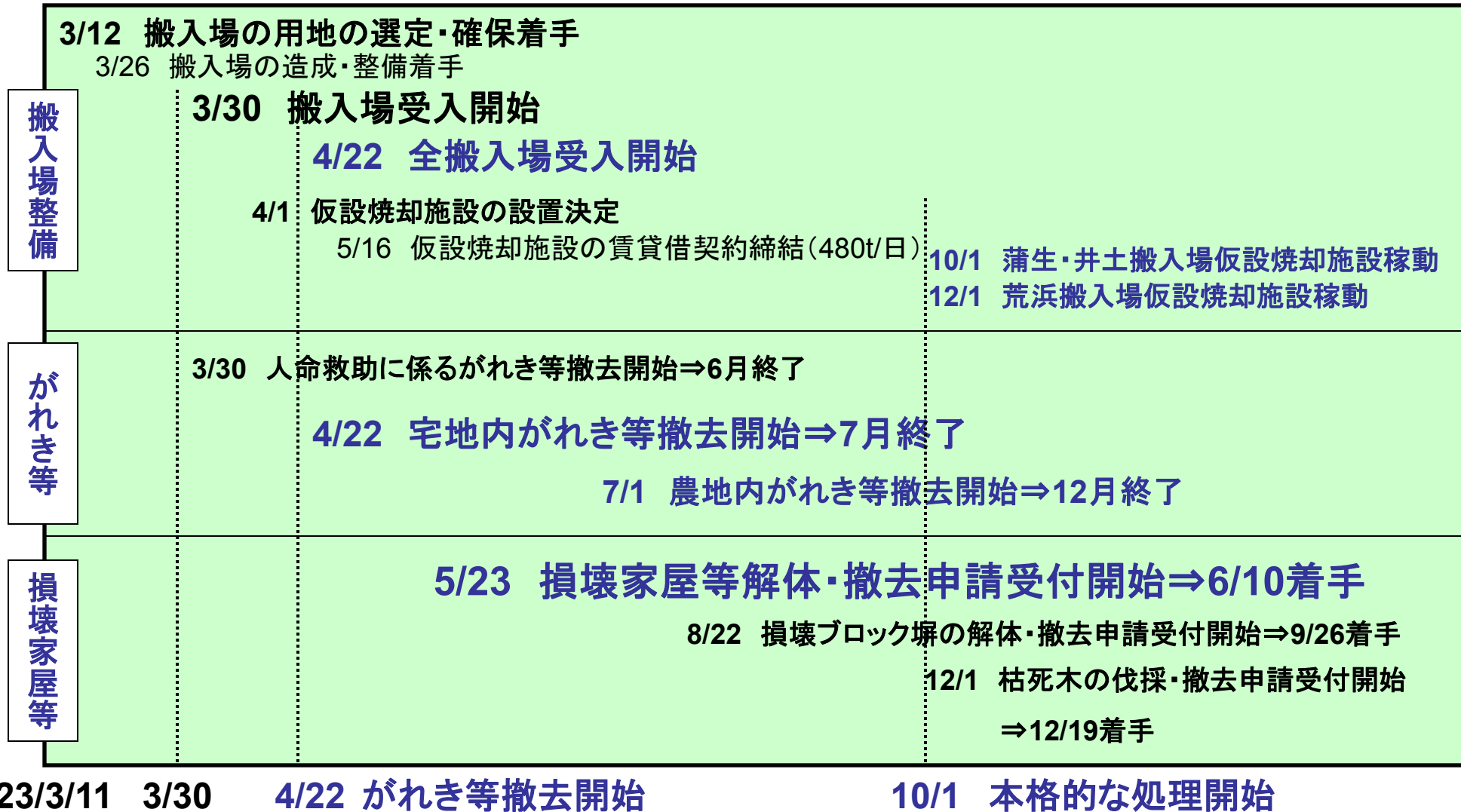
破砕施設



破砕・選別後の木くず等の可燃物

参考資料

○地震・津波によるがれき撤去等の経緯



参考資料

○ごみ・し尿処理体制の復旧の経緯

